

令和6年度の重点課題

○男子

「握力」「立ち幅跳び」において県平均かつ全国平均を下回っている。特に「立ち幅跳び」においては県平均を1.78ポイント下回っている。

○女子

「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」「ボール投げ」において県平均かつ全国平均を下回っている。特に「ボール投げ」においては県平均を2.14ポイント下回っている。

○新体力テストの総合評価のAB率45%、

DE率15%である。（(AB-DE)率30%）

○意識調査より

運動やスポーツをすることが好きに肯定的な評価をしている児童は全体の88%いるが、学年が上がるにつれて、否定的な評価をする児童が増加している。

外遊びをしていない児童が45%いる。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○外遊びの推進

大縄大会を設定し、大縄大会の一週間前を外遊び週間として、休憩時間に外で体を動かす機会を設けた。

○児童が運動の楽しさを実感できる取組

保健体育委員会を中心に、異学年が交流できる様々な遊びを企画・運営した。

体育科の授業では、単元ごとにグループを作り、友達と一緒に運動に親しんだり、「スポーツを行う」以外の多様な関わり方ができるように場の設定を工夫したりした。

○「立ち幅跳び」の改善

体育科の授業の中で、主運動につながる「感覚づくりの運動」を充実させた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.43	18.93	31.79	44.93	40.07	9.15	165.79	25.00	55.29	第5学年	14.70	16.20	30.10	34.30	23.60	9.62	150.60	12.20	48.70

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.43	18.93	31.79	44.93	40.07	9.15	165.79	25.00	55.29	第5学年	14.70	16.20	30.10	34.30	23.60	9.62	150.60	12.20	48.70

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	71.43	21.43	0.00	7.14	第5学年	60.00	40.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

学校全体	体を動かす ことが好き	割合	学校全体	体を動かす ことが好き	割合
4:とても	79	2:あまり	10	4:とても	61.7
3:まあまあ	28	1:全く	10	3:まあまあ	21.9
				1:全く	7.8
				回答者数	127

重点課題

情意面での課題

学校独自の意識調査より

○体を動かすことが好き

肯定的な評価をしている児童が全体の83.6%である。1・2・5年生は90%以上だった。しかし男子は14%、女子は17%が否定的な評価であり、5年生以外はクラスに1人はいた。

○運動時間

大休憩(20分)、昼休憩(25分)どちらも外遊びをしている児童が固定化されており、どちらも外遊びをしない児童が半数以上いる。

体力面での課題

○男子

ほとんどの種目において県平均値かつ全国平均値を上回っている。しかし、「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」の3項目で、県平均かつ全国平均を下回っている。特に「20mシャトルラン」においては県平均を8.03ポイント下回っている。

○女子

「50m走」「立ち幅跳び」以外の6項目で県平均値かつ全国平均値を下回っていた。特に「20mシャトルラン」においては県平均を14.16ポイント下回っている。

令和8年度の
重点目標値

○「体を動かすことが好き」と答える児童の割合を90%にする。

○1日の運動実施時間が20分未満の児童を0人にする。

○「20mシャトルラン」について、前回の学年平均値を上回るようにする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○児童が楽しさを実感できる授業づくり

児童の課題に合わせて、スモールステップで「できた」を実感できるように場の設定を工夫する。単元ごとにグループを作り、対話をしながら運動に親しめるようにする。

○持久力を高めるための取組

授業の準備運動で3分間走を継続的に行う。

「持久走記録会」で、一人一人がめあてを設定することで、目標をもって取り組めるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○外遊びの推進

大縄大会を行い、休憩時には学年ごとに大縄跳びの練習を行う。その際、大縄大会の一週間前を外遊び週間とし、休憩時間に外で体を動かす機会を設ける。

保健体育委員会を活用して、異学年が交流できる様々な遊びを企画・運営し、外で遊ぶ機会を設ける。